

Positive approach Positive approach Positive approach

対話によるポジティブ・アプローチ

Positive approach Positive approach Positive approach

■ わらい

問題の原因を分析・追及するギャップ・アプローチだけではなく、未来に向けた目標の達成に焦点をあてたポジティブ・アプローチを学ぶ。また、様々な利害関係者と新しい関係性を創り出し、未来志向の対話を通して課題解決に導く手法を身につける。

■ 対 象

係長級以下の職員

【特にお勧めする方】

・主任の職員

■ 定 員

各回32人（予定）

■ 日 程

第1回	5月18日（月）・19日（火）
第2回	7月30日（木）・31日（金）
第3回	8月20日（木）・21日（金）
第4回	10月15日（木）・16日（金）
第5回	11月18日（水）・19日（木）
第6回	12月14日（月）・15日（火）
第1回（延期分）	1月12日（火）・13日（水）
第7回	2月 2日（火）・ 3日（水）

【9：00～17：00】

■ 講 師

民間研修機関講師

■ 場 所

特別区職員研修所

（千代田区神田相生町 1 番地

秋葉原センタープレイスビル4・5・6階）

■ 問 合 せ 先

特別区職員研修所 教務課 基本研修係

03-5298-3930～6



■ カリキュラム (予定)

項目	内容
ポジティブ・アプローチとは (1)ギャップアプローチ・ポジティブアプローチとは (2)SDGs (持続可能な開発目標) のアプローチ	・ポジティブアプローチとは何かを理解する。近年注目されているSDGsでのアプローチについて学ぶ。
課題設定の方法 (1)二つの問題 (2)問題発見と課題設定 (3)発想力、想像力の阻害要因	・問題と課題を意識しながら、課題を設定する。発見する際の発想力、想像力の阻害要因となるものを学ぶ。想像力の高め方を身につける。
ファシリテーションとは (1)ファシリテーションのスキル (2)対話を促進する質問力 (3)対話を円滑にする話し方	・ファシリテーションとは何かを学び、効果的に対話の場を進行するスキルを身につける。ファシリテーターとして、場を活性化させる関わり方を学ぶ。
対話の見える化と合意形成 (1)対話の見える化 (2)発言を記録化・図式化する	・対立を乗り越える合意形成の重要性を学ぶ。対話を促進させるための「見える化」の方法を学ぶ。

※ カリキュラムの一部が変更になる場合があります。

■ ポイント&特徴



組織変革や職場における問題解決アプローチは、あらかじめ設定された基準と現状とのギャップに焦点をあて、それを問題として特定し修正や改善を図るギャップ・アプローチをとることが広く行われています。

本研修では、問題そのものに焦点をあてず、未来に目を向けることでいったん現状から離れ、未来を考えるポジティブ・アプローチを学びます。

未来に向けて、ありたい姿を思い描き、そこに至る方法を考えていくことで、「できない理由」から脱却し、どうやったら実現できるかという「できる方法」を考え、委縮しがちな思考を改善します。